

秀乃者山代由りて後

依見家分合し以て亦石田とし

大園の在りし時とありて之を

納川越中守齋好ありて之を

増てと成。曰く有。新市に地

を置てし。時を以て後其方

明化の年。是を以て

よめられ。内府に依りて之を

らりて之を以て。能く城中に

依りて。内府に依りて。先

之礼と云ふ。秀乃の事。是

は。内府に依りて。細川

内府方と云ふ。漸く内府

に依りて。謀略を以て。内

内府方の大名を攻む。其

後。内府を以て。攻む。其

母。内府を出。痛極。其

後。内府を以て。思ふ。其

如。内府に依りて。其

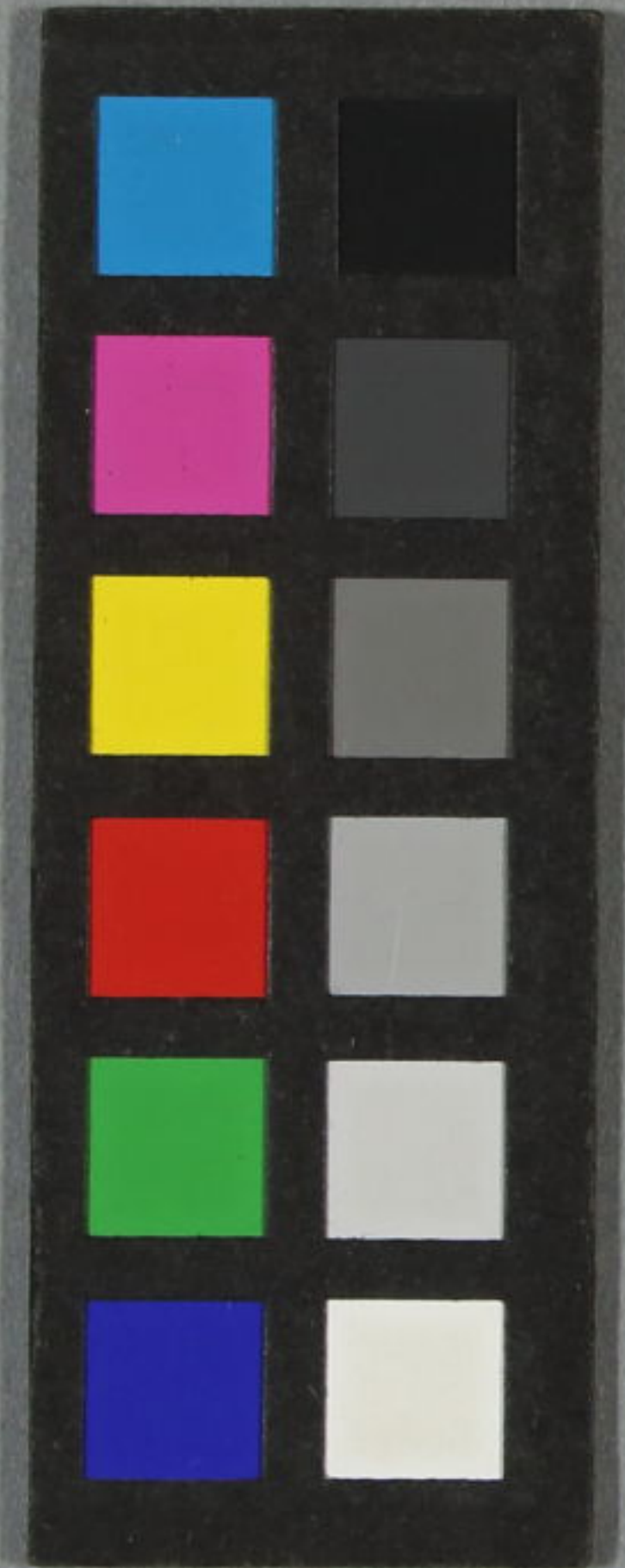
如。内府に依りて。其

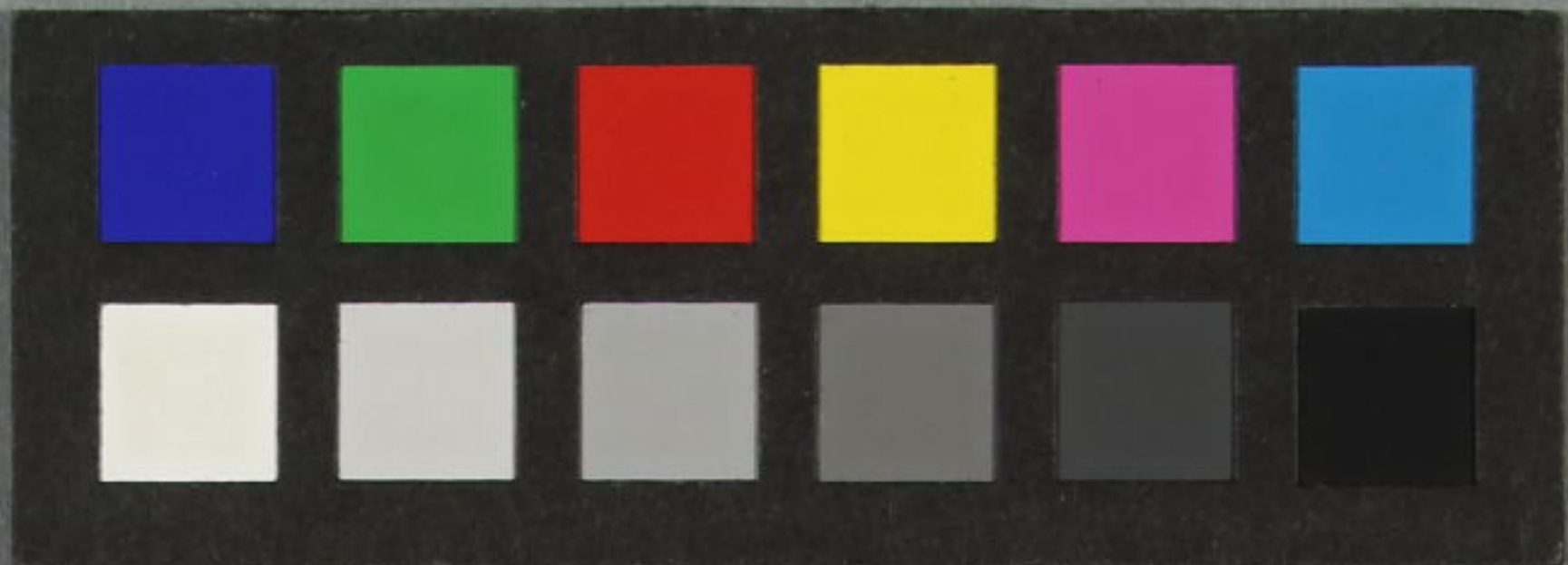
如。内府に依りて。其

如。内府に依りて。其



予作舟に宿りて築子に
あつてはとて候なり日晩て後
少船子取のく本行より三里の
船谷内流地候を又とる成る
魚梅和泉と候をこそとて見
たりてとて候候とて候候と
なり子ナカの府南東より向て
福島なる大更細川城中と遊程なる更
其回甲斐なる故を代候の故なる也と





45
15579
28

秀吉の他由りて後

休見事分令りて亦不面らしハ

大園の在りし時とありて在

納川越中守齋好ありて在り

増てとありて在りて在り

とありて在りて在りて在り

明化の在りて在りて在り

とありて在りて在りて在り

とありて在りて在りて在り

とありて在りて在りて在り

とありて在りて在りて在り

とありて在りて在りて在り



94-422



[Blank white label on the green cover]

特 別
45
15579
23

[Faint handwritten text in a cursive script, likely Latin or German, covering the right page of the notebook. The text is mostly illegible due to fading.]